

ORD講演会「激動の朝鮮半島情勢と日韓関係の行方」	1
ORD講演会「ソ連崩壊25年と世界情勢」	2
ORD講演会「吉本芸人として学んだ ばわーコミュニケーション理論」	3
技術促進委員会「研修」レポート	4
技術促進委員会「研修」レポート	5
事務局だより	6

編集：企画広報部会 事務局：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1丁目10番25号(奥野製薬工業(株) 企画開発部内)
TEL 06-6961-0886 FAX 06-6963-0740 E-mail info@ord.gr.jp URL http://www.ord.gr.jp

ORD 講演会

「激動の朝鮮半島情勢と日韓関係の行方」



平成29年3月8日、奥野製薬工業本社会議室において、テレビでおなじみの大阪市立大学教授朴一先生による「激動の朝鮮半島情勢と日韓・日朝関係の行方」と言うテーマでご講演頂きました。

金正男殺害直後の講演会でもあり、40名以上の参加を頂き盛況裡に開催致しました。



以下が講演テーマで、盛りだくさんのテーマをテレビではお聞きできないようなお話を頂きました。

1. 韓国における政局の混乱をどう読むか

- (1) 朴クネ大統領はなぜ弾劾裁判にかけられたのか
- (2) 韓国における政界癒着の構造
- (3) サムソン財閥トップの逮捕で韓国経済はどうなるのか
- (4) 韓国の次の大統領はだれか

2. 迷走する北朝鮮

- (1) 北朝鮮はなぜ核とミサイルの製造に固執するのか
- (2) 金正男暗殺事件の真相
- (3) 北朝鮮による権力闘争
- (4) 世界で孤立化する北朝鮮

3. どうなる日韓・日朝関係

- (1) 韓国の新政権と日韓関係の行方
日韓合意と慰安婦問題の行方
- (2) 金正恩政権の暴走と拉致問題の行方
北朝鮮の核・ミサイル問題にどう向き合うか
拉致問題をどう解決するか

1、韓国における政局の混乱をどう読むかでは、朴クネ大統領の生い立ち、韓国独特の風習、政治献金の仕方等を絡めて分かりやすくお話しいただきました。

2、迷走する北朝鮮では、金正男暗殺事件と、行方不明になったマレーシア航空機370便との関係と権力闘争を相関図で、詳しく説明頂きました。

3、どうなる日韓・日朝関係では、慰安婦問題の詰めの甘さ、北朝鮮の核の今後の方向性及び拉致被害者と工作員の関係を、大韓航空爆破事件の金賢姫との関係、ランゲーン事件の韓国大統領を狙った暗殺未遂事件と絡めてお話しいただきました。

今回の講演会内容を詳細にORDニュースに乗せられないのが、非常に残念です。



朴先生には、懇親会にもご参加いただき、更に詳細なお話をお聞きすることが出来、主催者冥利に尽きる講演会でした。

松浦 (記)

ORD講演会 『ソ連崩壊25年と世界情勢』

産経新聞 大阪代表 斎藤勉氏

平成28年10月28日 大阪国際会議場（グランキューブ大阪）にて、産経新聞大阪代表の斎藤勉氏より「ソ連崩壊25年と世界情勢」と題してご講演頂きました。



ソ連最後の特派員として、ソ連崩壊の瞬間を立ち会われた。

ゴルバチョフ体制により、規制が緩んできた事で、取材活動に対する嫌がらせと、取材の自由のイタチごっこが続き、更に規制が緩むと、情報が緩み、更に世の中も緩む。



石油価格の暴落をきっかけに、ソ連の崩壊。具体的には、

91年8月に、クリミアにてクーデターが起こり、この時にKGBが解体されました

91年12月8日に、エリチン大統領の声明により、独立国家共同体に移行し

91年12月25日に、ゴルバチョフの演説により、ついにソ連邦の崩壊となりました。

一番、ソ連の復活を望んでいる人物は、東ドイツにて、8年間KGBにて勤務し、東ベルリンの崩壊を経験

した、プーチン大統領です。

北方領土問題については、

- ・ロシア国民は、北方領土に関する歴史の勉強をしていないので、ロシア固有の領土と考えている事。
- ・ロシアの領土は、軍が管理しており、最優先事項で在る事。

中国による尖閣諸島問題にしても、外交に同じ戦略・手法を使っている。

即ち、ロシア・中国・北朝鮮の行動からも、「歴史は繰り返されている。」状況より。日本を取り巻く環境は、日に日に悪くなっているようです。

新聞に書かれていないこと、又は、新聞に書けない真実が沢山あり、新聞記者は、毎日命を懸けて、取材活動を行っておられる事が、ひしひしと伝わりました。

今回の、講演会は日本の外交問題等を考えさせられた講演会でした。

「日本が、悩まされている領土問題は、領土紛争ではなく、相手国による国家的な犯罪によるものでは？」と考えてしまいます。

講演会の後、講師を囲んでの懇親会が続編で盛り上がった事は、言うまでもありません。

産経新聞様には、大変お世話になりました。紙面をもってお礼申し上げます。



松浦（記）

ORD講演会

『吉本芸人として学んだ パワー・コミュニケーション理論』

平成 28 年 11 月 18 日、奥野製薬工業（株）本社会議室において、京都大学在学中に落語家桂三枝（現六代目桂文枝）師匠に弟子入り、卒業後吉本興業の芸人として芸能活動の傍ら、独自のモチベーションコントロール手法を考え出された夏川立也氏をお迎えして、「吉本芸人として学んだパワー・コミュニケーション理論」と題してご講演を賜りました。



“笑い”の働きかけを通じ、社内、対顧客コミュニケーション環境を改善し、あらゆるモチベーションのコントロールを通じて良好なコミュニケーション関係を作るには？

まず、良好なコミュニケーションを作るには？

全ての人々の行動の 90%は、無意識に行動している。

その無意識行動の 90%を味方につける事が重要。

具体的には、

周りの感情は、自分次第で変わるので、相手方を意図的に良い感情を意識させる事で「プラスの気分を与えることになる。即ち、一緒にやる、教えてもらうなどの協力関係を意図的に作るが空気感をあえて良い雰囲気の方に向ける事で、相手の聞く態度が変わる。それにより周りにプラスの変化を与えるが結果（実績）に現れる。＝良い当たり前を作る。

実際には、頭では理解しているが、行動を起こしていないので、結果に表れない。

この様な時は、

1. 文字にして一つずつやらせる。→相手方が腑に落ちるようにアプローチを変える。



2. 結果に疑問を持つ。→悪いことが起こる事を前提に対策を考える。

営業マンは、相手の感情を動かす事が出来る。

若い人は、「コミュニケーションは、上手くいく」と楽観的に考えているので齟齬が起きる。

ポイントは、

「相手に対する伝わり方→言葉は半分。感情は2倍」である事。

芸人さんのネタ作りは感情作り。

芸人さんは、面白い事を伝えるのではなく、面白さを伝える。

テレビ等のマエセツの役割

1. 一体感を意図的に作る。
2. 相手（客）の集中力少しずつ引き出し高めていく。
3. 周りの能動性を作る。



プラスの行動を「あえて」一緒にする。→これは「プラス」の積み重ね。

楽しい行動をする事で、笑顔になり笑いが出来る。「行動→感情→空気感→行動→感情→空気感」これの繰り返しの流れができる。

楽しい行動が出来ないのは、やると決めていない。当たり前の事を、当たり前に積み上げる。

上手くいっている人のイメージをうまくいかない相手の時に意図的に利用する。

3週間継続する事で、行動付け出来る。

同じ言葉でも、プラス思考の言い方とマイナス思考の言い方がある。即ちマイナスの言い方をプラスの言い方に変えるだけ。答えは、みんな頭の中に持っている。

セミナーの最後には、全員が笑顔で明るい雰囲気となり「心が動かされている」と感じたセミナーでした。

松浦（記）

技術促進委員会「研修」レポート

●日時：2016.12.2.(金) ●大阪管区气象台、大阪歴史博物館、忘年会

今年最後の例会は、寒空の中、総勢15名にて、大阪管区气象台、大阪歴史博物館を訪問し、忘年会を天満橋にて行いました。



関西の方は幼少のころより天気予報を見るたびに大阪管区气象台

の存在を意識したことがおありだと思います。しかしながら、恥ずかしながら小職に至っては「天気予報をするところだ」ぐらいの認識しかなく、どこに所在するかすら知りませんでした。

組織の話を最初にしますと、気象庁の本庁が東京にあり、その下に管区气象台が5か所あります。大阪管区气象台の管轄は、近畿、中国、四国地方です。もちろん各地方に地方气象台があり、地域によっては測候所、航空地方气象台、航空測候所があります。

気象庁の仕事内容として、①気象の観測、監視、予想、②地球環境の監視、③地震、津波、火山の監視と予測、となります。また、上記分類から外れるのですが「海洋」についても観測等がなされています。②については、日本および周辺地域について行った観測結果について国際機関と連携を取り、日本以外の国へ情報発信をしているとのことです。



日本が地震大国というのは本当で、地震は世界で年間約13万回起きており、日本での地震は

その内約10%もあるそうです。やはり日本は4つの大陸プレートにまたがっているのが大きな原因とのことで、特に南海トラフはユーラシアプレートの下にフィリピンプレートが潜り込んでいるため、どうしても周期的に大きな地震が起こることとのことです。

大阪管区气象台の話に戻しますと、職員215名、内訳は技術職：171名、事務職：44名の完全な技術系の組織で、例えば気象情報に関しては24時間体制で観



測→データ収集→予想をしているとのことです。データ収集および予想は自前のスーパーコンピュータを使って行っている

とのことですが、コンピュータの計算した生の結果をそのまま予報に使うには現状ではまだまだ問題があり、人間の経験による修正が必要とのことでした。ミニセミナーを3講座していただいた後、所内を見学させていただいたのですが、種々の発表に対して大きな責任がありますので使命感を持っていらっしゃるのとは当然のことながら、皆さん本当に気象やそれに付随する観測等が好きでされている印象を受けました。見学させていただき、知見も増え、非常に楽しい

見学会となりました。



大阪管区气象台の見学時間が指定されていたため、忘年会までの時間に大阪歴史博物館を訪れました。残念ながら真田丸の特別展は終了していたのですが、知っているようで知らない「難波宮」からスタートし、古代→中世→近世の大阪の歴史を再確認いたしました。詳細な資料まで確認していくと半日はかかるくらい多くの資料が展示されています。近畿に住んでいる方なら一度はじっくりと見学したほうがよいと思いました。

5時を過ぎ寒風が吹く中、大阪歴史博物館より15分ほど歩き、天満橋駅周辺にて忘年会を執り行いました。今年一年を無事終えることができ、改めて皆様のご協力に感謝いたします。

最後に、お忙しい中、ご対応していただきました大阪管区气象台、山本様をはじめ対応していただきましたスタッフの皆様にご感謝いたしますと共に、ますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます。



伊場田晶（記）／旭テック（株）

技術促進委員会「研修」レポート

●日時：2017.2.2.(木) ●場所：非破壊検査株式会社、奥野製薬工業(株)、新年会

今年度最後の例会は、寒空の中、総勢14名にて、当会会員の非破壊検査株式会社様の安全工学研究所を見学させていただいた後、奥野製薬工業(株)にて次年度の計画を策定し、新年会を周辺にて行いました。

非破壊検査株式会社様については、皆様一度はお名前を聞いたことがあると思いますが、具体的にどのようなものをどのように検査しているのか、明確でないようにも思います。当社のHPを観ますと、「非破壊検査とは“物を壊すことなく”その欠陥や劣化の状況を調べ出す検査技術のことをいいます。原子力発電所からビル、鉄道、橋、地中埋設物にいたる社会資本すべてが対象です。超音波や放射線、レーダーなど最新の装置と技術を駆使し、予防保全、有効活用へ役立てられます。」とあります。技術促進委員会では、早速、見学をお願いし、ミニセミナーをしていただきました。

非破壊検査様では、主に構造物の破壊を事前に予測するために、①欠陥、②ひずみ、③漏えいを検査いたします。検査の方法として、①外観目視、②磁粉探傷、③浸透探傷、④過流探傷、⑤超音波探傷、⑥放射線透過探傷の大きく6つの検査方法があります。こ

れらの要素技術を実際の検査する対象物に合わせてセッティングあるいは専用の治具/機器を用いて対応します。検査対象物としては、石油/化学/ガス/原子力プラントの保守：70%、輸送機/航空機/ロケット/鉄道：30%となり、鉄・コンクリートの構造物の占める割合が多いようです。事業内容としましては、①客先から依頼された検査およびレポート/コンサルティング

が90%程度で、その他に、②客先との共同開発による検査機器の開発/製造/販売、③標準品となる検査機器の開発/製造/販売となるようです。



開発試験場を案内していただいたのですが、一口に構造物といっても設置する条件等の違いによりそのまま検査機器を使用できる検査はほとんどなく、ほぼカスタム対応のようでありました。構造物がどのような形状でどのように設置されているか等の種々の条件により、どの検査方法をどのような治具/機器と組み合わせて検査を行うかが非破壊検査様のノウハウとなっているようです。

その後、奥野製薬工業(株)に戻り、技術促進委員会の次年度の計画を策定いたしました。あらかじめ実施していたアンケートを元に意見交換を行い、下記のように決議されました。

テーマ：これからの日本をささえる匠技

見学会：6/28(水)、松阪方面、企業見学と歴史民俗博物館





一泊研修:11/10(金)～11(土)、富山方面(YKK等調整)

講演会:12/13(水)、関空機内食工場、忘年会

企画会議:2/7(水)、産経新聞大阪本社、奥野製薬工業(株)

予定通り4時半ごろに次年度計画の策定を完了し、5時より新年会を執り行いました。無事今年度の活動をすべて無事終えることができ、改めて皆様のご協力に感謝いたします。

最後に、お忙しい中、ご対応していただきました非破壊検査株式会社、龍王様をはじめ対応していただきましたスタッフの皆様々に感謝いたしますと共に、ますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

伊場田晶(記)/旭テック(株)

事務局だより

会員企業展示会報告

会員企業様が出展され事務局が訪問できた展示会を報告させていただきます。

SURTECH2017 表面技術要素展

2017.2.15(木)～17(金)

東京ビッグサイトで行われた「SURTECH2017」に(株)三社電機製作所様、テクノロール(株)様、奥野製薬工業株の3社が出展されておられました。

